北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	比較経済論A	科目コード	1171	単位数	2
担当者名	李　炯直	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	B,F	実務経験	無
ナンバリング	DEc308	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

現在、世界には多様な経済システムが存在する。その多様性と複雑性を理解するためにマクロ経済学や計量経済学の基礎知識を学習し、近年各国が重要視している経済モデルを比較分析するスキルを身に着ける。そして、経済学的思考でその分析結果を客観的に判断する能力を養うことを目的とする。

到達目標

①経済学の理論的知識や計量経済学の基礎的ツールを身に付け、各国によって重視されている経済発展モデル間の相互比較分析ができる。さらには、世界に存在する経済体制の多様性と複雑性をマクロ経済的観点から理解することができる。
②基礎的な英語の経済用語をきちんと学習し、英文のニュース記事や学術論文などを通じて世界中の多様な経済システムをより深く理解する力を身につけることを目標とする。

授業内容

1週目 Study Guide and Introduction to "Comparative Economics A"
2週目 Understanding Basic Econometric Tools for Comparative Economics A ①：Set Theory and Summation
3週目 Understanding Basic Econometric Tools for Comparative Economics A ②：Mean, Median, Mode, and Skewness
4週目 Understanding Basic Econometric Tools for Comparative Economics A ③：Mean Absolute Deviation, Variance, and Standard Deviation
5週目 Understanding Mathematics for Economic Graphs： Linear Functions with a Straight Line
6週目 Types of Economic Graphs for Comparative Economics
7週目 Mid-term Exam ① and Review of the Graphs Used in Economic Models
8週目 Production Possibility Frontier (PPF) and Opportunity Cost
9週目 Efficient Use of Resources
10週目 Economic Growth with PPF and Absolute Advantage
11週目 Comparative Advantage and Specialization
12週目 Gains from Trade
13週目 Mid-term Exam ② and Review of the Determinants of Trade
14週目 Understanding Recent Strategies for Global Economic Growth
15週目 Final Exam and Summary of the "Comparative Economics A"
16週目 講義全体に対するフィードバック（テスト返却や講評等）の実施。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行う（※１６週目の開講は任意とする）。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：本学のEラーニングシステム(LMS)またはGoogle Classroomを利用し、毎週事前に提示される予習課題の作成や次回の講義資料を読むこと。（必要な予習時間：1時間以上）
復習：毎回の講義中に提示される復習課題を完成し提出することや、講義内容のまとめノートを作成し提出すること。（必要な復習時間：1時間以上）

成績評価の方法・基準

中間テスト：40%(＝2回×20%)
期末試験：40%
課題：20%(＝10回×20%)

履修上の留意点

授業中、事前許可なしでの通話、写真撮影、Lineなどの携帯電話の使用は厳禁。
講義開始以降30分以内での入室の場合、「遅刻」取扱いとする。
講義開始から30分を超えての入室に対しては「欠席」取扱いとする。
2回の「遅刻」は1回の「欠席」取扱いとする。
成績の評価は、10週以上出席した学生を対象とする。

課題に対するフィードバックの方法

全ての課題に対し、毎回採点を行い、点数とコメントを本学のEラーニングシステム（LMS）もしくはGoogle Classroomを通じてフィードバックを行う。

テキスト

特になし。
必要なゼミ資料は本学のEラーニングシステム(manaba)もしくはGoogle Classroomを利用し配布する。

参考書

N・グレゴリー・マンキュー（2025）『マンキュー経済学II マクロ編　[第5版]』（東京化学同人）4,950円

更新日付

2026/01/24 11:31